

開催日時：平成30年3月8日（木）14時～15時半

開催場所：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 会議室

出席者：（宝塚市医師会）、（自治会長）、（宝塚市介護保険課）（地域包括支援センター）

（事業所出席者）副課長、管理者、計画作成責任者

欠席者：（家族）、（民生児童委員）（連携訪問看護ステーション）

議題内容

1、事業報告

兵庫県定期巡回随時対応型訪問介護看護連絡協議会の発足

（管理者）

現在利用者は17名、平均15名程で推移している。年齢は65歳程の若い方も増えてきている。パーキンソン病の方が介護保険を申請され、日常生活で転倒時の対応での事で利用されている。介護度の分布は重度の方は減ってはきている、軽介助の方だったら受け入れが出来る状況になっている。介護度が低い方の介助では、服薬確認、食事確保、安否確認等でサービスを利用される利用者が増えてきている。世帯構成では独居の認知症の方のご利用が増えてきている。

（自治会長様）

利用者が定期巡回サービスを知る術はどこからなのか？

（管理者）

兵庫県も定期巡回の普及パンフレットを作成して配布している。事業所としても勉強会を開催し、普及に努めている。

随時対応の件数としては、12月の41件と多かったが、ターミナル期の利用者様がお亡くなりになった事もあり、1月は19件と減っている。深夜の訪問に関しては、排泄の介助、転倒のひきあげ、排泄の失敗等での訪問になっている。エリアでは、川面あたりまで訪問している。山本野里の利用者は経過良好ということもあり、1月で終了となっている。定期巡回の新規依頼も受けるが、訪問の枠が少ないし、人を増やせば訪問に行けるのか？と考えるが、ケア時間が重なり難しいのが現状である。県の方からも事業を紹介してもらい、事業所側も定期巡回普及、人材のスキルアップも兼ね、定期巡回訪問看護介護の連絡協議会を発足させる動きがある。神戸市では既に発足している事もあり、それをモデルに県下でも行って行きたい。2月には初めての集まりもあり、事業所も参加した。県も現在の事業所数を増やして行きたい意向だが、既に運営している事業所側に望まれる研修が不十分である事から、連絡協議会の中で行えていけたらと思う。

2、自己評価の報告

I-3 2/17 県主催の定期巡回・随時対応サービス技術力向上研修開催。

窓口になるオペレーターの情報供給の仕方、ケアマネージャーへの定期巡回サービスの理
解説明等グループワークを通じて学ぶ場となった。こはま 24h ケアステーションからはヘル
パー楨が参加した。

(計画作成責任者)

神戸市で定期巡回・随時対応サービス技術力向上研修が開催され研修に参加してきた。県
下の事業所間では、定期巡回サービスはどういったサービスなのか？といった疑問も多く、
定期巡回サービスが浸透していない印象を受ける。県下では、神戸市がサービスを展開し
ている事業所が多く、今後、他自治体でのサービス浸透の必要性を感じる。

I-5 1/25 合同カンファレンス実施。実際訪問している利用者を事例として、多職種で、
情報供給意見交換の場となった。

II-12 利用者の状態が悪化時、内服の内容が変わったり、内服のタイミングが変わった
りした時の情報共有が課題。

II-17 看取りの利用者のケアで、ヘルパー訪問時に利用者の様子を、日々訪問看護に伝
え、そこからヘルパーへ書面で指示をだし効率的に対応が出来た。利用者の変化に看護、
ヘルパーで常に連携しておかなければ、インシデントのリスクが高まる可能性がある。

II-29 変わらず実施状況が低い。事業所からの周知活動が必要ではないかと感じる。事
業所の人材不足もあり、日中は他事業所への委託も視野にいれておかないと利用者様の受
け入れには限度がある。

3、外部評価・質疑応答

(管理者) 訪看憩との連携を深めるにあたり、メールアドレスの交換を行ない、利用
者の皮膚状態等伝えにくい情報は、メールを活用して行きたい。

(医師会) 電子媒体の活用は、利用者の個人情報漏れる可能性がある。安心ネット
の利用はどうか？

(医師会) 他事業所が定期巡回サービスに参入し、サービスを浸透させていくにあ
たり、どの程度の需要があるのか？

(管理者) 月2、3件は新規の依頼をことわっているのが現状。軽度の介助者であ
れば取れる。サービスの需要はあり、ケアマネに一度定期巡回サービスを利用して頂い

たら、内容も理解してもらえ、また同じケアマネからも、新規の利用者の紹介があるのではないかと思います。行政とも連携して、浸透させていくのも必要である。

(包括支援センター) 定期巡回の連絡協議会が発足するが、いつ頃なのか？

(管理者) まだ具体的には決まっていないが、兵庫県の各エリア事に開催し、時には、県全体で集まって開催もできればと思う。県も、団体に補助金を出せるが、個人の事業所には出せない事もあり、団体として発足出来れば、県もサポートしやすいのではないかと？

(包括支援センター) 実際他の定期巡回の事業所はどういったケア、対応をしているのだろうか？

(管理者) ケアの内容は介護保険の訪問介護に准ずるものがあり、内容自体差はないのではないかと、まったく経験のない事業所がやると、そこでブレが生じるのではないかと。質の高いサービスを提供して行く目的で、発足する協議会の中で研修を行っていく、必要性はあると感じる。

(包括支援センター) 神戸市では既に発足しているのか？

(管理者) 区ごとに一つ事業所があり、複数の事業所が集まって、連絡協議会を開催している。宝塚市は現在 2 か所事業所があり、定期的な報告会はないが、連絡はとりあっている。

5、その他

連携推進会議の開催間隔の変更 平成 30 年度から半年に 1 回へ変更

(管理者) 現在 3 ヶ月に一回開催している連携推進会議だが、来年度から法改正もあり、半年に一回の開催で可能となった。それに基づいて開催して行く意向であり、今年度は、7 月と 1 月に開催する事となる。

次回開催予定日

平成 30 年 7 月 26 日 (木) 14 時～15 時半